

国本小学校

学校紹介記事は p. 37 を参照

「国際コミュニケーション能力」を身に付けた、 英語に強い国本の子どもを育成

予想不可能な未来です。いかなる環境に生きていくにせよ、与えられた人生をよりよいものにしていくため、子どもたちは主体的に学び続けることで自ら能力を引き出します。自分なりに試行錯誤しながら、多様な他者と協働し、世界の人々と新たな価値を生み出していくことが大切です。次代を生きるために必要な力を、「国際コミュニケーション能力」と考えます。国際コミュニケーション能力とは次に掲げる3つの力です。

- 自国の伝統や文化を大切にして世界の人たちと臆することなく、共に生きていく力（共生力）
- 自分の意思で正しい方向に考え、決定し、行動する力（自己決定行動力）
- 何事にも自ら積極的に取り組む力（主体性）

こうした力の育成に、全ての教育活動で横断的に取り組んでいます。特に1年生からスタートする英語の授業を通して、グローバル化社会を生き抜く実践的英語コミュニケーション力や国際性を身に付けていきます。また、人間性豊かな真のエリートを育むために、伝統ある「命のカリキュラム」を基盤とし、英語に強い国本小学校を構築しています。

英語教育のプロフェッショナルによる授業！

英語を母語としない国や地域で、英語4技能と言われる「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」の力を培うことは容易ではありません。英語を学ぼうとする子どもたちの学齢や特性を生かし、学習意欲を高める授業展開が求められます。国本小学校には児童英語教育のプロフェッショナルがいます。JTE（日本人英語教師）とALT（英国人ネイティブスピーカー教師）によるチームティーチング（協力授業）で優れた授業を展開しています。



校長による英語検定受験から合格までの指導！

小林省三校長は海外日本人学校校長（文部科学省派遣）として学校を立ち上げたり、小中高大学生への英語教育の実践をしたりしてきました。大学教育学部では児童英語教育学を担当し、英語に秀でた教師を多数輩出しました。国本小学校の子どもたちが世界を舞台に活躍するために必要な国際コミュニケーション能力を身に付けることを願い、「Joy of Learning」（学ぶ喜び）“Joy of Teaching”（教える喜び）の精神で、英語授業に積極的に関わっています。その成果の一つとして、英語検定受験合格を達成します。

英語コミュニケーション力を育む小中高英語一貫教育！

国本小学校では創立時から伝統的に英語教育を実践しています。1年生から実施していますが、2020年新学習指導要領に先駆けて英語授業時間数増を行います。2017年度から、英語テキスト“Let's Go” 4th Edition 1～6（オックスフォード大学出版）で学習します。英語を母語としない英語学習者にふさわしい構成内容であり、世界的に評価の高いものです。CDも付いて家庭学習もできます。さらに、国本小学校・国本女子中学校・高等学校との接続を重視し、12年間で一貫した英語学習のシラバスを作成し、英語コミュニケーション力を育みます。

